

Contents — 【目次】

- 02 小正月の伝統行事
- 04 成人おめでとうございます
- 06 まちのわだい
- 10 笑顔でこんにちは／スクールトピックス／中高生がスキー大会で大活躍
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

【今月の表紙】



1月8日に行われた猪苗代保育所の団子挿し。ミズキの木に団子を挿すのは、さくらB組の鈴木萌果ちゃん。先生に見守られながら、願いを込めて丁寧に団子を挿しました

有料広告募集中

町は、「広報猪苗代」に掲載する有料広告を募集しています。事業所の宣伝、広告などにぜひご活用ください。手続きや料金など、詳しくは下記にお問い合わせください。

総務課 秘書広報係 ☎(62) 2111

飾り付けが七福神でうれしかった。工作が上手にできるよう願いを込めて団子を挿しました。



鈴木康平さん(3年)

団子挿し (1月9日、野口英世記念館)



色とりどりのだんごなどを飾りつける児童

翁島小学校の1年生と3年生合わせて25人は1月9日、野口英世記念館内の博士の生家で、豊作や家内安全などを祈る伝統行事「団子挿し」を体験しました。

野口英世記念会の八子弥寿男理事長のあいさつの後、同館の鬼多見浩さんがだんごの色ごとに込められた願いなどについて説明。その後、児童らは居間に設置された大きなミズキの木に、紅白や緑・黄色など色とりどりの団子を挿し、ふなせんべいなどを飾りつけました。

同館では、地域の子どもたちに伝統行事に触れてもらうため、毎年団子挿しと節分の豆まきに、同校の児童を招待しています。

鳥追い (1月14日、小平潟地区)



玄関で鳥追いの歌を歌う小平潟地区の子どもたち

鳥追いに参加するのは、ことしで4回目です。夜にみんなで歩けるのが楽しみです。



佐藤瑠吏さん(3年)

農作物を鳥害から守り、豊作を祈願する小平潟地区の「鳥追い」は1月14日に行われました。同地区の年長児から小学6年生までの合わせて6人が、「こんばんは。かつかです」と同地区内の家を一軒一軒回り、元気に鳥追いの歌を歌いました。

「今日はどこの鳥追いだ、長者さまの鳥追いだ、雀の頭を8つに割って、こだらにぶちこんで、鬼ヶ島さ追い流せ あっちゃんぽー あっちゃんぽー」

現在、町内で鳥追いを行うのは数地区のみで、同地区の鳥追いは、もともと男の子だけで行っておりましたが、少子化により継続が難しくなってきたことから、現在では女の子も参加して行うようになりました。

※「かつか」 鳥追いのこと

歳の神 (1月11日、名古屋町地区)



1月10日から15日にかけて、町内の各地区で「歳の神」が行われました。

名古屋町地区の歳の神は1月11日、同地区内の田んぼで行われ、地区住民が五穀豊穡や無病息災、厄払いなどを願ってたきあげました。

住民たちは振る舞われた豚汁やみかんを味わったり、持ち寄った餅やするめを焼いて食べたりして、伝統行事を楽しみました。

地区の青年会が中心となって実施している同地区の「歳の神」。もともとは15日に行っていました。が、仕事の都合で、休日でないに参加できない人たちが多くなってきたことから、十数年前から休日に実施しています。

ことしの歳の神には、昨年途中から同地区で合宿生活を送る猪苗代中女子バドミントン部も参加。地域の伝統文化に触れるとともに、住民らと和やかなひとときを過ごし、交流を深めました。

名古屋町青年会長 山内賢さん



当地区は200以上の世帯がある地区ですが、歳の神の参加者が少なくなった時期もあったようです。今は子どもからお年寄りまで大勢集まりますが、それは、豚汁やみかんを振る舞うなどして先輩方が工夫してきた結果です。今後多くさんの人が来てくれる催しとして続いていくよう、努力していきたいです。



歳の神に参加し、住民たちと交流を深めた猪苗代中女子バドミントン部の部員たち(前列)

小正月の伝統行事

1月、町内の各地区や施設などで「歳の神」や「団子挿し」など小正月の伝統行事が行われました。その一部を紹介します。